

# 令和7年度 人権学習推進委員会 総会

## 総会後の感想

- 人権に関する基本的な考え方を改めて共有できる貴重な機会となりました。
- 自己紹介の一人ひとりの話は、それぞれの立場での取り組みや熱い思いを聞くことができ、とても有意義でした。
- それぞれの団体が人権に関して、どのような活動をしているのかを知ることができました。知ることで、何らかの形でつながるきっかけになるのではないかと思います。
- 色々な話を聞くことができ、今後さらなるつながりを深めていきたいと思いました。地域の人とつながることで、住みやすいまちづくりができたらと思います。
- 地域の方が色々な形で支え合っていると感じました。この地域が明るくなっているのをうれしく思いました。



六月四日(水)、連島南公民館にて人権学習推進委員会総会を開催しました。好評につき今年度も自己紹介に少し時間をとって、自身の所属団体での日頃の人権に関する活動状況や今年の取組目標人等を思いやったエピソードなどについて情報交換しました。その後、令和六年度の事業報告、決算監査報告並びに令和七年度の事業計画・予算について審議され承認されました。

今年度も講演会・研修会への積極的な参加をお願いし、推進委員の人権意識が地域の方々へ広がっていく、連島南中学校区が笑顔あふれる地域になるよう取り組んでいきたいと思っております。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



発行者/倉敷市連島南中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局/倉敷市連島南公民館  
Tel.086-448-9631

第58号

倉敷市連島南中学校区  
人権学習推進委員会啓発テーマ

人権は誰もが  
もってる  
たからもの

重点課題

笑顔あふれる私たちの地域  
知ることで広げる思いやりの輪

## 参加者の感想

- 平和のありがたさ、日常のありがたさを感じました。災害に対応することを日頃から考えておかなければならないと思いました。
- 支援する方は「ありがとう」を期待する、支援される方にもプライドがある...いろいろな事に気付かせていただきました。ありがとうございました。
- 日常のありがたさ、普通とは何か...を考える時間をいただきました。
- 実際に現場で支援活動をしてこられたお話で、とても説得力がありました。



令和七年九月七日  
人権教育講演会

演題 『心を紡ぎ、世界をつなぐ』

AMD Aの国境を越えた支援を通して  
「援助される側にもプライドがある」という言葉は、被災された方や支援に当たった方には当然な事でしょうが、改めて今回のお話で気付いた大切な事でした。また、何事も前向きにとらえる菅波前理事長の「死ぬ気でやった人に、死んだ人はいない」といった数々の格言も心に残りました。

そして、日本という平和な国は、自然災害だけでなく、北方領土等々の問題を抱えており、今の平和を維持していくとともに、災害により強い国にしていかなければならないと強く思いました。

●特定非営利活動法人  
AMD A副理事長  
難波 妙氏



連島南小4年 河田 心菜



連島南小6年 仁科 柚子優



連島南小6年 仁科 郁香



連島南小6年 大月 莉心



連島南中2年 渡邊 雫



連島南中2年 津野 花音



連島南中2年 赤星 実咲

お知らせ

連島南人権ふれあい交流会  
「みそ作り&人権啓発DVD上映会」

開催日時 令和8年2月14日(土) 13:00~15:00

事前申し込みが必要です。詳しくは公民館までお問い合わせください。

TEL 448-9631



連島南中2年 竹内 愛花

令和7年度  
倉敷市人権ポスター

連島南中学校



連島南中2年 日名 桃々



連島南中2年 安田 碧羽



連島南中2年 永瀬 まゆ



連島南中2年 赤澤 絆愛



連島南中2年 和田 未優



連島南中2年 久戸瀬 もな

差別駄目 命の重さ 皆同じ

連島南中3年 徳永 心音

認め合う 自分と違う 価値観を

連島南中3年 大戸 優菜

友のこと 想う気持ちが 大切だ

連島南中2年 満永 航

いじめ駄目 やさしさ 世界に とどけよう

連島南中2年 山本 蒼天

たくさんの 笑顔を守ろう 平和な世界

連島南中1年 二階堂 桃

けんかなし 大切なのは 思いやり

連島南中1年 石原 健太

令和7年度 人権啓発ポスター 標語

連島南小学校・連島南中学校の児童・生徒の皆さんから 気持ちの込められた素晴らしい作品が寄せられました。

連島南小学校



連島南小6年 奥野 暉唯



連島南小4年 近藤 彩希



連島南小2年 三宅 一成

認め合う 助けあふ 世界を又 プロジェクト 姫井楓 連島南小6年

大じょうぶ いやな気持ち ふ、とばそう (まこいしおと) 連島南小3年 笹井 菜音

令和7年度

研 修 視 察



人権学習推進委員会主催の研修視察を8月23日(土)に連島中学校区との合同企画で33名の参加者で実施しました。視察先は「藤クリーン(株)リサイクルセンター」です。人権啓発指導員の岸本先生によるバス内研修は、「SDGs」について17の目標を2030年

岡山県立図書館のバックヤード見学では、普段立ち寄ることのできない書庫の様子を説明を受けながら見学しました。まず、デジタルビデオで撮影したり、ナレーションを撮ったりできる2階のメディア工房を見学しました。次に3階に上り、一般に閲覧されている30万冊の書物の何倍もの書物が固定書庫に保管されている様子に圧倒されました。

そして日本で2番目に導入された「自動化書庫」では、薄暗い通路を通って頭上を見上げると、コンテナに載せられた本がコンピュータで管理されて縦横無尽に動き回っていました。蔵書数160万冊を誇る日本有数の図書館の裏側を見学しつつ、このように素晴らしい図書館を我々県民は有効に活用しなくてはもったいないなと感じました。

までに達成しようとする、その背景についても資料を用いてクイズ形式で楽しく学習できました。

藤クリーンリサイクルセンターの2024年3月から稼働した「プラスチック資源循環センター」は、燃えるごみとして出されるプラスチックを回収することでCO2排出を抑え、カーボンニュートラルの実現と資源活用を目指しています。年間約8,000t、1日約30tのプラスチックごみを処理していますが、集めたごみを高磁



力や風力、重量、そして人力によって選別し、粉砕した後に洗浄・脱水し、最終的に米状のペレットに生成しています。見学を通して、日々私たちが正しく分別してごみを出すことの重要性を痛感しました。



参加者の感想

- ◆ごみ処理現場で実際に困っていることを聞いて、分別することの大切さがよくわかりました。倉敷ではまだ実施されていませんが近い将来、プラスチックごみの分別をする時の参考になりました。
◆まだまだごみの分別が正しく出来ていないことに気がつきました。しっかり分別をしていこうと思います。
◆私たちの出すごみがあのような形で処理され、リサイクルされることに時代の進歩を感じました。
◆今回の視察を機に、リサイクルについて意識を高めて身近なことからSDGsに貢献したいと思いました。

